

看護学部
TOTSUKA Noriko

PROFILE
職名
看護学部 看護学科教授 看護実践異文化国際研究センター所長
学歴
新潟大学大学院法学研究科 修士課程修了（2000）
学位
修士（法学）（新潟大学、 2000）
所属学会
日本看護管理学会、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本がん看護学会、国際看護研究会、日本国際保健医療学会
専門分野
看護管理学、国際看護学

戸塚 規子

とつか のりこ

研究課題1●国際看護学の教育プログラムの開発に関する研究

研究課題2●病院経営と看護職の役割に関する研究

研究課題3●多職種チーム医療に関する研究

業 績

【著書】

『ナースの生き甲斐シリーズ―私達の国際ボランティア体験―』／「第2章 青年海外協力隊の活動」、真興交易医書出版、1998年8月、共著。

『国際看護学入門』／医学書院、1999年9月、共著。

『2000年に看護を語る』／「第5章 国際協力活動」、日本看護協会出版会、2000年7月、共著。

【学術論文】

「新看護体系における看護単位の大きさに関する研究」／日本医療福祉建築協会課題研究報告書（平成10年―平成11年3月）、1999年7月、共著。

「途上国に対する医療協力に従事する看護職に必要とされる条件・能力」／『国際保健医療』14(1)、2000年3月、共著。

「開発途上国からの要請に対応して派遣された青年海外協力隊看護職の充足状況の分析」／『北関東医学』50(5)、2000年9月、共著。

「看護職による国際協力活動の還元に関する研究―青年海外協力隊帰国後、再び国際協力に参加する理由とその障害―」／『北関東医学』52(5)、2002年9月、共著。

「看護職による国際協力活動の還元に関する研究―国際看護協力の異文化適応の視点からの考察―」／『北関東医学』52(5)、2002年9月、共著。

「新設自治体病院の経営方針と看護職副院長の実践」／『看護展望』28(12)、2003年11月、単著。

「がん看護における多職種チーム医療に関する研究」／佐川がん研究助成振興財団研究報告第15集、2005年3月、単著。

「国際看護は異文化看護を包含する」／インターナショナルナーシングレビュー 32(2)、2009年4月、単著。

【翻訳】

『救急看護 からだのしくみと処置の実際』（J.Barry 著）／第Ⅲ部 病態生理学：理論と救急処置 第21-29章「整形外科的損傷の救急ケア、脊椎の損傷、熱傷の救急処置、破傷風予防、昏睡患者の救急処置、内分泌の救急、溺死と溺水、危険な水中生物、潜水事故の救急処置」／『医歯薬出版』、1982年8月、単訳。

【国内学会発表】

「国際看護学の教育を行う意義に関する質問紙調査(第1報)」／国際看護研究会第11回学術集会、2008年9月、共同。

「在日外国人の保健医療における看護の課題に関する研究―先行研究の動向」／国際看護研究会第11回学術集会、2008年9月、共同。

「京都橘大学における国際協力事業への参画による看護教育」／第24回日本国際保

健医療学会学術集会、2009年8月、共同。

「国際看護学の教育を行う意義に関する質問紙調査(第2報)」／国際看護研究会第12回学術集会、2009年9月、共同。

「国際看護学Ⅰの履習前後における受講生の興味・関心の変化」／日本看護学教育学会第19回学術集会、2009年9月、共同。

「国際看護学の教育を行う意義」／日本看護科学学会第29回学術集会、2009年11月、共同。

認知症高齢者の家族介護者のストレスマネジメントの実際／日本老年看護学会第15回学術集会、2010年11月、共同。

中国A省における介護者ストレスマネジメントの実態報告／日中韓第2回看護学会、2010年11月、共同。

【調査報告】

「インドネシア国青年海外協力隊現地巡回指導報告書」／JICA青年海外協力隊事務局、1992年11月、共著。

「中国青年海外協力隊現地巡回指導報告書」／JICA青年海外協力隊事務局、1993年10月、単著。

「マレーシア国CBR関係隊員派遣要請背景調査報告書」／JICA青年海外協力隊事務局、1994年8月、共著。

「人口家族保健フロントライン計画予備調査報告書」／「ラオス」「バングラディシュ」「フィリピン」／JICA青年海外協力隊事務局、1994年10月、単著。

「セネガル共和国グディリー医療プロジェクト中間評価調査報告書」／JICA青年海外協力隊事務局、1996年10月、共著。

「タンザニア連邦共和国イロンガ母子福祉センター拡充プロジェクト最終評価調査報告書」／JICA青年海外協力隊事務局、1998年1月、共著。

「ラオス国医療分野隊員巡回指導調査団報告書」／JICA青年海外協力隊事務局、1999年3月、共著。

「中国・パキスタン青年海外協力隊保健衛生分野隊員巡回指導報告」／JICA青年海外協力隊事務局、2001年4月、単著。

【講演】

「CNSの組織変革者としての成果と展望」／日本看護管理学会第9回年次大会教育講演、2006年8月、単独。

「国際看護・異文化看護―看護職の国際協力とその意味するもの―」／京都府看護協会一般研修、2006年8月。

「がん看護の取り組み」／静岡県立静岡がんセンター市民公開講座、2007年3月、単独。

「国際看護」／平成19年度京都府看護教員養成講習会、2007年10月、単独。

「いま改めて看護の質を問う―看護管理者と上級実践看護職とのパートナーシップ―」／京都橘大学看護国際フォーラム2007、2007年11月、単独。

「がん診療（連携）拠点病院の経験から連携を考える」／京都府看護協会平成19年度在宅ホスピスケア普及フォーラム、2008年2月、単独。

「看護組織論―国際看護・異文化看護」／京都府看護協会平成20年度認定看護管理者セカンドレベル教育、2008年11月、単独。

「異文化看護論」／厚生労働省看護教育研究センター幹部看護教員養成課程、2009年6月、単独。

「国際看護」／滋賀県看護教員養成講習会、2009年10月、単独。

「看護管理におけるマネジメントとリーダーシップ」／JICAパラグアイ看護・助産継続教育強化プロジェクト看護管理セミナー、2010年3月、単独。

「近年の医療環境と看護職の役割～病院建築の礎材として」／日建設計医療福祉チーム研修会、2010年4月、単独。

「病院管理と看護職の役割」／JICA病院管理中南米コース、2010年10月、単独。